

◆GW前の安全利用点検を実施しました

◆富士川砂防事務所では、毎年GW前に管内砂防施設箇所での安全利用点検を実施しております。

今年度は、4月13日～19日で点検を実施し、反射板の設置等の補修を実施しました。

◆安全利用点検とは・・・

砂防施設を整備する地域は、優れた景観に恵まれている溪流等が多く、水と緑が豊かな貴重な空間であり、レクリエーション活動等の場として多くの人々に利用されています。

安全利用点検は、砂防施設管理者が砂防施設利用者の観点で点検を行うものです。

一般利用者みなさまにおかれましては、自己責任による安全確保を心がけていただくことが重要です。

◆点検結果

流域名	点検箇所数	補修箇所	主な補修内容
釜無川上流域	23	0	無し
流川, 神宮川, 尾白川, 大武川, 小武川流域	12	3	反射板・反射テープの設置、 鉄筋露出箇所切除、 進入禁止ポール撤去
早川流域	20	7	注意喚起看板の設置及び 固定、 疑木柵接合部の欠損補修、 ロープ是正

主な対策事例①

◆流川、神宮川、尾白川、大武川、小武川流域



配管が認識しにくい

夜間に転倒する危険性あり。



配管への反射テープ設置により、
夜間の視認性が向上。



鎖が認識しにくい

夜間に衝突する危険性あり。



鎖への反射板設置により、
夜間の視認性が向上。

主な対策事例②

◆早川流域



疑木柵の結合部
が欠損

擬木が外れると
進入の危険性あり。



欠損箇所を補修

欠損箇所の補修により、
進入を防止。



注意喚起看板
が落下

注意喚起が見逃される
可能性あり。



注意喚起看板
(この先危険な箇所あり)
を再設置

看板の再設置により
注意喚起を実施。